

トントタッチ！

保健福祉センター



築後33年の月日が流れた

町健康管理センター

町健康管理センターは、昭和53年に建設され、築後33年の月日が経過しました。健診や予防接種など、町民の総合的な健康管理を行う場所として親しまれていました。

同センターが建設された時、町の人口は約23,000人で、当時と比べると、現在では約10,000人増加しています。さらに、施設の老朽化や保健福祉活動の多様化に伴い、同センターでは、十分に対応できない状況になりました。

このような状況を踏まえ、平成21年に住民団体の代表や町議会議員などで構成された建設検討委員会から、施設の機能やデザインなどの提言がありました。

3つの施設からなる

町保健福祉センターが誕生

「益城町保健福祉センター」は、健康管理センターの状況を踏まえ、現在のニーズに沿うよう、3つの施設からなる複合施設として誕生しました。

「保健福祉センター」をメイン施設に、子育て支援施設の「児童館」、「町公民館広安分館」を併設。多くの世代の来館者の間で、自然に交流が育まれる施設を目指しています。

「保健福祉センター」は、各種健診、予防接種、健康づくりなどの新たな拠点施設として活用されます。

設置の要望が高かった「児童館」は、幼児から18歳までの子どもたちが自由に集い、